



名前は裏面に記入してください

原爆先生じゅこうの特別授業を受講して

表

2/20

先日は、原爆についてくわしくお話しをしてくださりありがとうございました。

私はあまり原爆について知らずただ怖いというのだけを知っていましたが先生のお話を聞いた後は今でも原爆が落ちないか心配しています。

原爆先生のお話は深く学べて、とてもいい経験になりました。

一番いんしょうに残っているのが広島に原子爆弾の落ちる音でした。実際には耳がちぎれそうなくらい大きい音だと思いました。その音はその場にいないと体験ができません。周りの人はおどろく間もなく熱線や衝撃波などですぐにかけになってしまったのだと思います。そして見ただけでも痛かったです。もし自分が皮むがはがれて肉がみえちゃってたら泣くどころではなくきせつすると思います。今後は絶対に戦争がおきないでほしいです。

貴重な2時間ありがとうございました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

私は、改めて原爆のおそろしさを
知りました。1945年広島に投下された
原子爆弾で、何万人もの人達が
亡くなってしまいました。無事に生き残
った人達もひらかきの中、骨が見
えるほどの大ケガを負ってしまいました。

広島に次には長崎にも投下され
同じようにたくさんの方が亡くなって
しまいました。このお話を
聞いてから、今日本が昔とくらべて
安全なんだと思えました。

しかし、世界にはまだたくさんの
爆弾が残っていたり戦争時
に埋められた地雷がまだ
たくさん残っていると思うとまた
この世界は危険なんだと
気が付けられました。絶対、戦争
はくり返してほしくないと思いま
した。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

原爆のひびきを知りました。音とかが再現してくださったのでリアルでこわかったです。

私が一番聞いておどろいたのは、原爆の温度が太陽と同じということです。そしてあまりのあつさで水にとびこんでも水がふっとうしてしまって助からなかったというのがこわかったです。どういふ場合なら助かったのでしょうか。コンクリートの建物なかで、氷がたたくせんあつたら助かったのでしょうか。液体窒素をばらまいてくれれば助かったのでしょうか。それでも、爆心、土から150メートルしかはなれていなかったところにも、土手下で生きのびられた人がいたのはおどろきました。

戦争は非常に悲しい出来事だと思えます。もう二度と同じことが起こらないように、私たちが少しは平和に過ごせるように努力したいと思います。



じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

私は、原爆先生の特別授業を受講して、命の尊さ、戦争の悲惨さ、実際に経験した人々の強い苦みを深く理解することができました。今までも戦争をくり返してはいけないことや、原爆の恐ろしさを感じてはいましたが、ここまで強く感じたのははじめてでした。話を聞いただけで強い恐怖心を覚えたのに、経験した人の恐怖は私達に想像で超ほこのものではないと思いました。苦しむ人、命を落とす人、大切な人と失う人みんなが辛いのになぜ人々は戦争をくり返してしまうのか、それは未来において非常に大切なものだと感じます。原子爆弾の想像を超えた威力に強い衝撃を感じると共にもしそのようなことが今起きたらどうなってしまうのか怖くなりました。太陽の表面温度は6000℃、原爆は100万℃と考えると、太陽の2倍弱の熱を持ったものが地上から600mまで近づいてくるという事実が一番おどろきました。被爆した広島市では総人口の約4割が死んでしまったこと、ことに改めて原爆の威力の強さを痛感しました。苦しんでいる人々を目の当たりにしても助けられないみじめさは計り知れないものだと思います。この授業を通して平和の素晴らしさに強く感謝し、戦争を二度と起こさない世界になるように願っています。このまがいにはいる人なことを知れてよかったです。ありがとうございました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

私は原爆先生の特別授業を受講して、戦争や原子爆弾への恐怖を感じました。私はずっと戦争は怖いものであるということしか頭になかたのですが、先生の話を聞いて怖いだけではない、戦争は悲しいものだということがわかりました。それを感じさせたことは三つあります。一つ目は、被爆した人たちが助けを求めて義三さんたちが乗っているトラックの荷台に乗ろうとしているところです。手を差しのべてうでをつかんでもただれたひふがはがれその痛みで手をはなしてしまう人。荷台に乗れても他の人とぶつかりその痛みにたえきれず、助けた義三さんたちにどなる人。聞いているだけでも痛痛しいのにどんな状況かが想像できてしまい、心が押しつぶされるような悲しい気持ちになりました。二つ目は、爆心地の近くの川でたくさんの方がなくなっていたことです。そのことについて説明されていた時に先生が『ゆでたこ』とおっしゃっていたことがとても印象に残っています。私は以前祖父が料理で使うたこをゆでているのを見たことがあります。グロテスクな姿だったためショックを受けたのをはきりと覚えています。赤紫色で正直に言うとしんどい感じが



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

悪いなと思いました。あのぞっとするような光景が人間に例えられるなんてあまりにしょうげきの的でした。そんなことはあてははいけないと思いました。

川に飛びこんだ人たちの痛みや恐怖を思うとかわいそうで心が苦しくなりました。

三つ目は、義三さんたちが被爆しなくなった人たちを火葬場まで一人一人をおぶって運んだことです。

広島に原爆が投下されたのは夏でさらに爆心地の近くだったためものすごく暑く、なくなった人たちが腐敗してしまいとつもない臭いがしていたそうです。

その人たちをおぶっていた義三さんたちもむねが痛んだだろうし、なくなった人も本当につらかっただろうなと思います。

もし自分が義三さんたちの立場だったらと思うと辛さと恐怖で震えるし、自分が被爆しなくなった人だったら腐敗して臭いをだしいきにかソリンで焼かれてしまうのはいやです。悲しいです。

戦争は、人の心にひそむ残酷さの象徴です。ですから、もうこのようなことが二度とおこらないように、これから私たちが世界平和へ一歩でも近づけるよう努力していきたいです。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

今回、はととてもためになるお話を
してくださりありがとうございました。
ました。

私は最初、原爆と聞いてよくわから
なかつたのですが、先生のお話で
どれほどひどい者の方が大変な
たかかわかりました。

私は原爆という物の、いかに、
はかいかを改めて実感しました。

元々原爆はすごい力を持っていて
人々をととても苦しめるということ
しか思っていませんでした。

しかし、原爆でたかさんの方がひどくし、
水がある川の中へ思わす、とひこんで
しまうほど危険なものだということ
も知りました。

もと原爆について知りたかったです。



じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

/

先日は、光塩で授業をしてくださり、ありがたうございます。原子爆弾は恐ろしいものだと、ということを知っていましたが、どのように恐ろしいのか、詳しくは知りませんでした。原子爆弾が爆発した瞬間に亡くなった方が2万人もいるということに驚きました。会社が開くのを待っていた階段に座っていたら、放射線や熱線に全身に浴びて階段に黒い染みだけが残されていたという話を聞きました。もしも自分の家族が亡くなったとき、現場にかけつくと黒い染みだけがあつたら...と思うと、怖くなりました。自分の家族の存在がうそだ、たのかとさえ思っています。義三さんが被爆者の模型を見せてくれたことが印象に残っています。模型でも悲惨さが伝わってくるのに、それすらきれいなのか、とショックを受けました。実際はどれほどかわからない人間とは思えない姿だったのか、想像すると、とても恐ろしいです。被爆された方が少なくなっている今、次の世代に戦争がいかにも愚かなことだと伝えていく使命が自分に与えられているのだと思ってきました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

2/

「戦争は二度と繰り返してはいけない」この言葉を一年に一回はかならず聞いていました。もちろん、その意味も理由も分かていました。戦争でたくさんの方が苦しんで、亡くなって、戦争から得た物がなにも無かつたわけでは無いけれど、それ以上に失なつた物が多すぎたからだとして、そう解釈してました。それも間違つてはいないと思うけれど、今回お話を聞いて、「苦しい」「痛い」「辛い」「残酷」そんな言葉では言い表わせない、もう地球にあるどんな言葉を使つても表わせない、それが戦争なのだと思いました。それは原爆資料館にある像を見て義三さんが「綺麗すぎる」そうおっしゃつたと聞いて思いました。どんなに実体験者の方の言葉を聞いて、そのまま伝えたとしても、その人が感じたものを自分たちも感じるわけではありません。それは何にかんしてもそうです。だから戦争を知らない子どもというワードが出てくるのかもしれない。けれど、戦争があつて、それがどのようなものだ、

特定非営利活動法人原爆先生 <http://hiroshima9.com> post@hiroshima9.com

たのか、その事実を伝えることには絶対意味があるなと思つてました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

私が原爆先生の授業を受講して心に残ったことはたくさんあります。その中でも、一番衝撃を受けたのは原爆先生のお父様がトラックに乗られいたときに、トラックの荷台に乗ってこようと必死で助けを求めた被爆者の方々のお話です。「助け.. 兵隊さん...」と小さな声で呼びかける方も助けしてほしいという言葉を伝える被爆者の方々はみな全身がヤケ皮が剥がれたと聞いて、とても心がいたくなりました。当時の方々も私たちと同じ人間なのに「原子爆弾」という一つの武器で皆すかたえ変えられてしまったという事実は受け入れ難いと思います。しかも、この残酷な過去を知ったからこそ、学ばなくてはならないことがあると思います。たとえば、75年前に広島の方々が何ひとつ罪はないのに条件が当てはまった土地に住んでいたというだけで命を奪われしまったこの出来事で多くの犠牲者がでてしまいました。今でもまだ苦しい思いをされている方々がたくさんいます。ですから、もう人々の苦しみが消え、世界中の人々が平和な人生をおくることのできるように、敵をつくらず、相手が傷つくことをやめなくてはならないと思います。しかし、急にそのような「平和」がおとされることはありません。世界中の人々の心が豊かである必要があるからです。そのためには自分自身を最初に変えなくてはなりません。「原爆」を通り、世界の人々に「平和」を届けたいです。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

この度は貴重な体験談をお聞かせくださり、本当にありがとうございます。

語り部の方の口調、声色、しぐさ、視線、その全てが池田義三さんご本人が体験して来たことが目の前で繰り広げられているかの様な独特な雰囲気があり、私は実はホラーや死体などの表現が苦手なのですが、しばらくの沈黙の中にかすかに飛行機が上空を飛ぶ音が数回したと思うと、「ドカーン！」と原爆が爆発したシーンや亡くなった方の遺体を背負うシーンは正直に言うとトラウマになりそうでした。ですが、それとは反対に一人の少女を治療し、助けたシーンはホロッと不覚にも泣いてしまいました。最後の方で義三さんが平和記念館にあつた人形を見て「きれい過ぎる。」と言われた所は人形の写真だけで泣きそなっていた私にとっては恐ろしかったです。願わくば、もう二度と悲劇を繰り返してはほしくないです。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

原爆先生の言話を聞き、教科書などにはのっていないところまでたくさん分かりました。

私は、衝撃波の速さが音速より速いことにおどろきました。原爆の温度は太陽の $\frac{1}{2}$ の温度でそれが落ちてくると思うととてもこわいです。

原爆の長さは約3.12mでそれが爆発し、被爆者数が約24万人にもなってしまって原爆の強さを知りました。

原爆が落ちて奇跡的に生き残っても、放射線などによって亡くなった人がまた増えて戦争は絶えずにはいけないと已めて思いました。

今私達が平和に過ごしているのは平和のおかげです。これからも平和な暮らしができることを願っています。

今回は貴重な体験を言話してくたさうありがとうございました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

私は今まで、「原爆」と聞いても頭には、被災地や「原爆ドーム」などの有名な建物しか思い浮かばず、あまり自分には関係のない出来事だと思っていました。しかし、原爆先生がしてくださった授業を通じて、「原爆」や「戦争」への考え方が変わり、今も、これからも全体に起きてはいけないことだと改めて気付きました。原爆は、落とすだけで、大勢の命をうばえるので、とてもおそろしい物だなと思いました。もし、自分や家族、友達もせくな、た方々の中にいたら...と思うだけで、すごく胸が苦しくなりました。きっと、被害者のご家族などは、一生悲しむのだらうな...と被災地の写真や体験者の方の動画を見ながら、そう思いました。原爆は何もかも失わせることができる物。私は、そう感じました。広島県の被災地あたりで、唯一残っていたのは、大きな建物の「原爆ドーム」だけ。人々も建物も、そして、幸せも無くなってしまふ。これからは、このような、悲しみ、苦しみだけが残ることは、決してないようにと祈っています。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

「7000℃の少年」について 原爆先生のお話を聞かせて
いただき、...そしてこの九日間...もし 私や学校の友達が
この時代の人間でヒロシマに住んでいたら。どれだけ
怖くて、苦くて、辛い思いをしなくてはいけないので
あろうか...ということについて考えました。

これまで不便もなにごともなく住んでいた町がこの
一瞬でまるでちがう世界のようにかわりはててしまう
ということの恐怖を改めて知りました。

広島市人口が35万人で被爆者数が24万人で
死者数が14万人で死亡率が40%という
衝撃的な数値に背中が凍りつきました。

10人いたうちの4人がとくなっている ということは
私がその時代の人だった場死んでいる確率がとても
高いことを改めて知りました。

この原爆被害に遭われた人々の気持ちを考えると
とても苦しくなります。もし、被害に遭っていたら自分に
とって本当に大切なものをたくさん失ってしまっていたかも
しれません。ものだけでなく、友達や家族や先生かもしれません。

これからの世界へ向けて「世界平和」をもっと大切にしていきたいです。



名前は裏面に記入してください

じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

広島に投下された原子爆弾。その威力がどれだけのものだったのか、少しだけ分かったような気がします。その時代にはまだ私は生まれていませんでした。だからといって、「私が巻き込まれなくて良かった」とは一ミリも思いません。私は広島に行き、原爆ドームを見ました。といつても三歳の頃だったので何も感じませんでした。今その時の写真を見ると、胸が苦しくなります。あんなに立派だった建物が一瞬でボロボロになったなんて、とても恐いです。池田義三さんは、原爆が投下された広島を見て、どれだけ苦しめたか想像もできません。私は、たまたま平和で恵まれている所で生まれ育ちましたが、そんな事があったのだなと、改めて思いました。原爆資料館にある、女の人の人形を見てあれでも私は「えっ？」とゾッとしたのに、「綺麗すぎる」と言われて、当時はもっとひどい姿だったのかなと想像したくもありません。あれよりももっとひどい姿なんて見たくもありません。私は、周りの人がせくなるのをまだ体験したことがありません。そんな大勢の人々が一瞬でせくなる戦争を、もう二度とやらないように、他の国々と仲良くできるようにしたいと思います。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

改めて、原子爆弾の恐ろしさを知ることができました。7000℃や3000℃の温度がどれほどの熱さなど、私は分かりませんが、先生のお話しをうかがって、少し分かったような気がしました。一瞬のうちに多くの方が亡くなり、生き残った人は大きな火傷や傷などの重症を負い、もがき苦しむ。どちらも想像ができないほど恐ろしいことです。皮膚が焼けて、骨まで見えている姿は、想像するだけで、恐ろしいです。YouTubeで原爆の実際の映像を見ました。私より小さそうな子どもが原爆の影響で背中が剥がれて、肉が見えている姿は、とても心苦しいものでした。被爆火傷は回復せず悪化していく。本当に心苦しいことです。なによりも、この原子爆弾が落とされてから100年もたっていないということが恐ろしいです。人間の体感的にいえば大昔のような出来事ですが、歴史的に見たら、またまた最近の出来事、私からしたら、とても考えられないことです。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

原爆先生のお話を聞いてお話ししてく
くださり、ありがとうございました。
私は今回のお話を聞いて、原爆の
おそろしさを改めて感じました。
一つの原爆で、約十万人もの
の命がなくなってしまう。そして、その
うちの約二万人は一瞬のうちに
跡も残さず消えてしまったに...
本当に怖いもの、そして絶対使って
はいけないうるもののように感じます。
そして、私が一番印象に残っている
ものは、きのこ雲です。今回きのこ雲
の説明していただけて、本当に
大きいものだと思いました。まさか
対流圏まで広がっているとは
思っていなかったのが本当に、
おどろきました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

原爆資料館で再現されている人形を、実際の
木皮爆者が「綺麗すぎる」といった時にはとても
心苦しかったです。どれほどの地獄だったのかは、私
にはとても想像が付きませんが、だからこそ、実際の映像
を見て学ぶことが大切なのではないか、と思いました。
この度、原爆先生のお話をうかがえてとても良い
経験になりました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

私は、池田義三さんのお話を聞いて、原爆の恐怖さを改めて実感しました。今私達は、平和で穏やかに暮らしていますが、戦争のときはいつ死んでもおかしくない状況だったんだなと思います。原子爆弾の温度は、中心部は、100万℃、外周でも7000℃あるそうです。太陽でも6000℃なのにそれ以上の温度のものが来られたら、人間の体はひとにまわりもありません。なので人の原形がわからないう死体と聞いたときは「ゾッ」としました。それにものすごくおどろいたのは、原爆資料館の原形を見て池田義三さんが「きれいすぎる」と言っていたのもおどろきです。とてもあらわせないくらい体験だったんだなと思います。やはり今の平和があるのは戦争で被害にあつた人達が作ってくれたものなんだなと思いました。今回原爆先生の特別授業をしてくださりありがとうございました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

原爆先生の特別授業を受講して一番心に残ったことは、死亡率です。人口35万人中、死者数は14万人です。5人に2人が亡くなってしまふ原子爆弾がいま現在もこの世にあると思うとおそろしくてたまりません。先月22日に核兵器禁止条約が発令されました。署名国数は86カ国です。日本は、アメリカにいかよた時に助けてもらえるように署名をしていません。少しでも署名国が増えてほしいです。

また、原子爆弾の温度におどろきました。中心は100万℃で、表面温度は7000℃です。太陽が落ちてくるよりも熱いと思います。爆弾が落ちたことによつて真空地帯ができてしまふ。中にいた人はどのように思つていたのかを考えると悲しくてしかたがありません。

今現在原爆症として苦しんでいら、しゃる方々が少しでも元気になつてほしい。その特別授業を受講して思ひました。核兵器をなくすことに自分ができることをできていけたらいいです。今回は、私たちのためにお話をしてくださり、ありがとうございました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

原爆についてだけ”ではなく、実際に原爆がおちたときの爆風の音や原爆を経験したが、命は助かった人のエピソード”など”資料館や図書館で借りた本などを見るよりもとても貴重な体験ができました。授業を受講して、戦争というものは、とてもおそろしいものだ”と改めて思いました。私は、五年～六年にかけて戦争について学びましたが、原爆によって苦しんだ人や亡くなってしまった人たちの、悲しみが今回身にしみを感じました。命は助かって、家族や友人が亡くなっていたら、悲しくて私だったら立ち直れない”と思います。原爆は、多くの人たちの命をうばい、苦しませたものだ”とよくわかりました。これからの人生を生きるため、私は戦争で亡くなられた多くの人々のことを忘れずに毎日生きていきたい”と話聞いて感じました。そして、未来の人々にも戦争の苦しみを伝えていってほしい”と思います。



名前は裏面に記入してください

原爆先生じゅこうの特別授業を受講して

表

2/20

私が、最初に戦争について考えたのは、一昨年、倫理の授業で「焼き場に立つ少年」という題名の写真を学んだのがきっかけでした。この男の子がとてもかわいそうで、私達の平和な暮らしを、一瞬で奪う戦争は本当にひどいと思いました。

そして、今日、原爆先生のお話を聞いて、改めて戦争の恐ろしさや平和の大切さを学ぶことができました。

先生のお話の中で、特に印象に残ったのは、原爆の威力のすごさです。太陽より熱い7千°Cの火の球が近づいて、地上で爆発し、激しい衝撃波と高熱、放射能が広島をめちゃくちゃに破壊した様子が、先生の迫力あるお話から強く伝わってきました。

また、悲惨な広島の様子にも驚きました。一瞬で爆心地は建物も人も炭となり、その周りでは数えきれない人々が、やけどではがれた皮小を垂らしながら水や助けを求めている姿を聞いて怖くてぞっとしました。この地獄のような中で、人々の救護をされた方のお話には、つらくて涙が出そうになりました。

これから先、戦争を知らない人が増えていくと、戦争の怖さや苦しみが分からず、再び戦争への道を進んでしまうかもしれません。そうならないよう、私達にできることは、忘れないこと、伝えることだと思います。私は自由に旅行ができるようになったら、まず広島へ行きたいです。そして今日教わった地図に添って、歴史を心に刻みたいと思います。また今日学んだことを忘れずに、大人になっても周りの人に伝えていきたいです。

原爆先生今日は本当に貴重なお話をありがとうございました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

この度は原爆についての授業をしていただき、ありがとうございました。

今回のお話は聞いただけでも怖いと感じたのに、実際に体験した人はどれだけ怖かったろう、恐ろしかったろうと思ひ、本当にかく爆弾は使、てはいけない、恐ろしい物だと再認識させられました。

特に、会社員の人か仕事場か開くのを待、てい、て、被爆した後、に黒いシミしか残、てい、な、か、つ、た、と、い、う、話、は、挿、入、し、て、立、ち、上、り、ま、し、た、た、つ、て、一、し、ゆ、ん、の、内、に、一、つ、の、爆、弾、で、人、か、居、た、所、に、残、り、ま、し、た、の、は、シ、ミ、だ、け、だ、つ、た、の、で、か、ら、一、し、ゆ、ん、の、内、に、人、の、存、在、を、消、す、事、か、で、き、る、か、く、か、私、は、怖、く、て、恐、ろ、し、く、て、き、ら、い、で、す、も、う、二、度、と、誰、も、被、爆、す、る、事、か、な、い、世、の、中、に、な、つ、て、ほ、しい、で、す。

75年前に落とされた原子爆弾「トルボーイ」。私達の世代が次は「もうこんな悲しきは行かないために戦争は絶対に、しては行かないと伝えるべきだ」と私は感じました。

もう二度こんな悲しき事はおきませんように。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

今回の原爆先生を通して、改めて原子爆弾と戦争の恐怖を知りました。少し原爆の本を読んだくらいで「原爆のことを知った気にならしていた自分が恥ずかしいです。記念館で飾られていた写真が「きれいすぎる」なんて私は少しも思いません。現代で「ほ知ることかてきない程悲惨な現場だったということが分かりました。そしてもう一つ、胸をうたれたワードがあります。それは、「人間とは思えない姿」という言葉です。少し前まで「元気だったはずの人が、一瞬で「人間とは思えない姿へ変わる恐怖、そして「助けて...」「助けて...」と悲痛な叫びをあげる被爆者たちを救えないもどかさ、死体処理の際の無惨さ。これら全てのことを経験した池田義三さんは本当に辛かったと思います。特別授業ありがとうございました。一生忘れません。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

今日はいろいろなことを
教えていただき、ありがと
うございました。私は、も
ともと、原爆のことは、少し
知っていましたが、原爆先生
の特別授業を受講したところ
「原子爆弾」に対するイメージが、
ガラッと変わりました。その内、
最もイメージが変わったもの
は、原爆によって、被爆、死亡
してしまっただけの人たちです。前まで
は、一瞬間で燃やされた人たちが
多いのかな、と思いましたが、今は、
燃えた人もいますか。とんどん、お
ごくなっている、苦しみがらせく
なっただけの人もいると分かりました。
このような悲劇を、二度とおこさ
ないよう、戦争をしないようにした
いのです。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

広島で、どれほど悲事なことがあったのか、
知ることができました。

しかし、今でも多くの核兵器がのこっているのが
現状です。広島の人々がどれほどの痛みを
感じることはまたあまりできていません。

今の私たちにできることは、核兵器をこの世界
から失くし、失敗をくりかえさないということ
だと思いました。

お話に出てきた男の子は、道ばたに痛みを
苦しんでいる人々を助けたいのにもかかわらず
助けられない。人間の姿をしていない
いたましい姿の人々をたくさん見たと思います。
それは、とても辛く苦しいことですが、これを
いまだ理解していない人は世界中にいます。
そして、今も多くの核兵器がのこされています。
このしょうきょうを少しでもはやく改善したい
と思います。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

私は今回、先生のお話を聞いて原爆の怖さや威力、投下後の街の悲惨さを改めて感じました。

私の心に一番残っているシーンは、原爆資料館の人形を見て「きれいすぎる」と一言発した、というところです。帰ってからその人形の画像を検索してみたのですが、その人形にさえ、目をあわせられなかったもので、当時の人が原爆によっておそろしい姿に変えられてしまったのだ、と思うと重く、苦しい気持ちになりました。原爆に対しての気持ちではなく、原爆をつくった『人間』に対して抱いた気持ちなのかもしれません。

このような恐怖をくりかえさないために、今回のお話を忘れずに次の世代へ伝えていかなければならない、と思いました。きれいな青空を守っていくためにも、よく考えて活動していきたいです。ありがとうございました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

原爆先生、原爆のお話ありがとうございます
ございました。原爆のお話を聞いて、
やはり原爆の知識だったので、原爆のことを
たくさん聞くことができて良い機会に
なりました。原爆はとてもザンコウなもので、
もう、二度と、日本には入れてほしくないと
願うばかりでした。当時のことは、言葉では
表しきれないぐらい大変で、ひふがとけていく
ところや、まわりの下りもの全てがくずれおちてゆく、
頭では全く想像ができません。戦争、原爆は
その場で、その時に出会った人だけにしか分からない
感情です。どんなに言葉をほらべても、伝わりは
表現がきれいな。今でも、戦争が続いている国
もあつたり、戦争のせいで、みんなが思いどおりに
いかない日々が続いています。小さい子や老人の方も
いる。私は、原爆先生のお話を聞いたから
こそ、心の底から、戦争はこの世界でおきてほしく
ない、と思います。今私にできることを考えて、
それをやることも大切だと思っています。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特^{じゅこう}別授業を受講して

表

私は原子爆弾の候補になった都市のお話を聞いたときに、とてもしょうげきを受けました。なぜなら、京都が除外された理由におどろいたからです。京都に文化財が多いことや日本人の感情が考えられた、ということをごこれまで知りませんでした。池田義三さんのお話の中でいろいろなところで「こわい」と思いました。でも、現実はまだとおそろしかったと思います。防火用水の桶から死体が見つかったときや、元安川で多くの死体を見たときの義三さんの気持ちを想像すると胸が痛いのです。特に元安川で死体の一体一体を担いで集積場に運んだとき、とても苦しい気持ちだったと思います。もし私だったら、にげてしまいそうです。御幸橋を女の人を担ぎながらわたったときはとても良い気持ちだったと思います。私は原爆についての本、「いしぶみ」や「はだしのゲン」などを読んだことがありますか、まだまだ知らないことが多いです。この悲げきを伝えていくためにもっと原爆について知りたいです。



名前は裏面に記入してください

原爆先生^{じゅこう}の特別授業を受講して

表

この度は、私たち6年生に原爆の恐しさや怖さを教えてくださり、ありがとうございました。私は、先生のお話を聞いて、今のような平和な時代に生まれて、本当に良かった。と思いました。そして、この平和な時代がこれからもずっと続いていけるように少しでも社会に貢献できる大人になりたいと思いました。私は学校に「はだしのゲン」があったため、よく読んでいますが、実際に先生のお話を聞いてみたら、私のはだしのゲンを読んで想像していたよりも、ずっとおと恐しく、はだしのゲンのお話を「生ねる」くらいまで思うようになりました。広島や長崎で実際に被爆し、亡くなった方々のために、これからも日本は絶対に戦争をしてはいけなしいと思います。そして、実際に原子爆弾が投下された日本が中心となって世界の核兵器がなくなっていくことを望みます。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

2/19

原爆先生の特別授業を受講して、戦後の
細かい所まで知ることが出来ました。

原爆ドームが目標になったこと。池田さんが
体験した様々なつらい出来事。目の前で
苦しんで助けを求めている方々。原爆ドーム
の写真やお話を聞く度に「やはり、昔、
人々が戦争していたんだな。」と思いました。
また、今まで知らなかった原子爆弾が投下
されるまでの事。エノラ・ゲイという飛空艇で
投下されたという細かい所まで知れました。
演ぜっも熱く、心がこもっていて、話の
内容がすぐ、頭に入ってきて、分かり
やすかったです。

当時の広島の人があんなにも苦しく、
つらい思いをしていたのだなと改めて
感じました。戦争という悲しい出来事
を忘れてはならないと思いました。
お話をしていただき、本当にありがとう
ございました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

今回は、わかりやすい授業をしてください、ありがとうございました。私が一番心に残ったお話は、原子爆弾が太陽と同じくらいの温度だったということです。その太陽と同じ温度の火玉が落ちてきたらと考えるとこわくてたまりません。でも昔太陽と同じ火玉が投下されたというのは事実だから、戦争はとてもおそろしいものだと改めて思いました。広島に原子爆弾が投下された後、全身にやけどもおい、皮膚がただれてしまったし、一ヶ月で全身がとけてしまったりした人々がたくさんいたんだと思うと、その人たちがとてもかわいそうでしかたありませんでした。罪のない人の何万人もの命がうばわれてしまい、人類はとてとても大きな失敗じゃすまされないうちをしてしまったので、これから同じあやまちをくり返さないようにしていきたいです。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

2/20

今日は原爆について、詳しく教えてくださり、ありがとうございました。広島にも住んでいないその時代に生きていかなかった私たちが原爆について、知るという事はかなり難しかったです。写真などからも理解することができました。また、当時生存していた人達がどのような思いを抱いていたのか、さらに知ってほしいと思いました。地上が 3000°C まして、原爆の中心部が 1000000°C になる程、激しいものであったということを考えると、恐ろしかったです。一瞬にして、家族をうばわれ、失い、生きがいを失くした人もいます。それを思うと、人類の最大の過ちでもあったと思います。実際に、たとえ被爆しなくても、原爆症といった、健康な人にまで害を及ぼした例がいくつもあり、3.11の東北でも起こりました。だからこそ、その悲惨さを物語る原爆ドームから学び、考え、二度と過ちをおかさないようにするべき、と改めて感じ、自分は平和な世の中に感謝しながら生きていきたいと思いました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

本日は原爆についてお話していただき、
ありがとうございます。

私は原爆については何度か本を読んだり、資
料を見たりしていましたが、今回話をうかがって
原爆に対して改めて恐怖を覚えました。もし、
今原爆が降りてきたら...と思うととても
怖いです。

お話の中で広島県内の被爆者率が70%、
死亡率が40%とうかがった時、非常におど
ろきました。5人に2人が原子爆弾によってせくな
。たということはそれだけ原爆の威力がすごかった
ということなので、そこでまた改めて原爆の恐ろし
さを思い知らせました。

今も世界には何万発もの核兵器がありま
す。また広島や長崎のような非惨なこと
にならないように核兵器廃絶は大事だ
と思います。これから少しづつでも核兵器が少
なくなると、平和につながることもできたらいいな
と思いました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特^{じゅこう}別授業を受講して

表

原爆のひどさ、さんごくさをも感じた授業でした。私は原爆のひどさを知っていましたが授業を聞いて私が思っていたよりも何倍もひどくさんごくなことにしゅうげきをうけました。原爆によって広島の人40%の人が亡くなったこと、あつさが太陽よりもあつく死んだ時骨も残らなかった人がたくさんいたことなど私には想像できないことがおおすぎました。また、池田義三さんの話を聞き私は人とは思えない人が助けをもとめてきたという言葉が一番心に残りました。特に人とは思えないというところです。どうやらたら人では思えない姿になってしまうのかと思っただけです。ですが考えたらそれだけ原爆がひどいかわかった文章でした。また亡くならなくても原爆症で長年苦しんだ人もたくさんいると思うとしてもさんごくさが伝わりました。原爆の数は一たものまだたくさんあります。もうこのような経験を殆ど人がいなくなるように原爆の数がへってほしいです。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

私は いままで 原爆は 原爆 ドーム が 残る くらい
だから そこまで 威力 は ない の かな と 思っ て いた の だ け が、
原爆 先生 の お話 を 聞い て 考 え 方 が 変 わ り ま し た。
原爆 の 表 面 温 度 が 約 7000 と ぞ 太 陽 の 温 度
く ら い だ と 聞い て おどろ き ま し た が、 そ の 太 陽
の よう な 原 爆 が 広 島 の 高 さ 600 m の 上 空 に
落 ち て き た と 考 え る と そ う そ う て き な い く ら い
あ つ い の た な と 思 い ま し た。 原 爆 が 落 ち て
き た と き に 下 に い た 人 た ち は ど の よう に
く る し ん で い た の か、 と 何 じ に 生 き の こ、 た 人 た ち が
く る し み つ つ け て き た の か、 と て も 考 え さ せ ら
れ ま し た。 ま た、 原 爆 先 生 の お 父 様 が き ね ん
か ん へ 行、 た と き の お 話 で 「き れ い す き る」と
言 っ た こ と が す び く び つ っ く り し、 一 番 心 に
の こ り ま し た。 戦 争 が ど れ ほど おろ か て 人 々 の
命 を む た が に し、 く る し ま せ る か が と て も
よ く お か り ま し た。 世 界 で 争 い こ と が
な く な り ま す よう に。 長 い 時 間、 お 話 し て
い た た き、 本 当 に あ り が とう こ じ っ ぱ い ま し た。



名前は裏面に記入してください

原爆先生のお話 じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

今回、原爆先生のお話を聞いて、70年前の8月、私たちの住んでいる日本が被爆したと思うと全然他人事ではないと思いました。特に原爆の威力が大きく、た、た一発で何万人もの命をうば、てしま、たり病気にしてしま、たりすることにおどろきました。もし、自分が被爆したらと思うととても怖いです。また、被爆して焼けてしま、た町などを見るのも心が痛むと思います。原爆の音も怖く、温度もとても高く、それでも暗く受け止めず、前向きに生きた人々を私も尊敬して見習いたいです。

私たちは原爆のことを忘れずに過ごさなければいけないと思います。また、過去の過ちをくり返さないようにするにはどうすればいいのかということも考えられるようになりたいです。原爆先生のお話は原爆の大変さなどがとても伝わ、てきました。これからも被爆して犠牲にな、てしま、た方々のことを胸に刻んで過、ごしていきたいと思います。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特^{じゅこう}別授業を受講して

表

原爆先生のお話を聞いて、改めて原爆のおそろしさを知りました。

1945年投下された原子爆弾でたくさんの方が亡くなり、放射能の後いしょうで苦しんでいた人がたくさんいたことを知り、とても悲しくなりました。

池田義三さんの動画を見て、実際に体験した人の心に残ったきずはとても深く原爆に対する思いがとても強いことにもとても感動しました。

たくさんの方が亡くなり、苦しんだというのを忘れずに、二度とこのようなことがおこらないように世界中の人々に原爆の怖さを伝えていきたいです。



名前は裏面に記入してください

じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

「戦争」は私達は知っているけれども、とても遠い存在です。私の祖父母も戦争を知らない世代です。本当に日本でこんな恐いことが起きたのかな。その時代に生まれなくて本当に良かったなぐらいしか思いませんでした。今回原爆先生のお話を聞けなかったらこれからそんな他人行儀な人間で終わっていたと思います。世界には「原爆」が戦争を終わらせるには必要悪だと主張する人も少なくはなかったと思います。確かに戦争は終わらせなければいけなかった。でも、本当に原爆は必要だったのでしょうか。

原爆が爆発した時の地面の温度は3000度。その数字を聞いて私の思いは当時広島にいた同年代の子供達のところに飛んでいきました。朝の8時15分。この時間は私はいつも朝礼に参加しています。当事のこの時間も親は仕事、子供は学校に行っていたのではないのでしょうか。そして「早く戦争が終わりますように」と願っていたと思います。その子供の幸せが突如3000度という熱さに包まれ焼き殺されてしまったのです。どんなにつらかったのでしょうか。そう思うと心が痛いです。

日本は永く戦争を放棄する... 授業で日本の憲法9条を学びました。今、私達にできることはこの「平和」を原爆でせくなった子供達に約束することだと思います。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

私は、原爆先生の特別授業を受講して改めて戦争、原爆はとんでも怖いのだなと実感しました。

私達が生まれてくるのが少し遅かったために、戦争があったときに生まれて戦争を体験していたらと考えると怖いし、辛かったと思います。体験した人からすると、思い出すのも辛くなって泣き出してしまう人もいて、やはり戦争はしないでほしいという気持ちの方が前よりも増えました。戦争をしたら苦しむ人が増えるだけでたれもうれしいと考える人はいないと私は思っています。

この授業をして、戦争は怖いと思ってほしくないと思う人がたくさんいると思うのでこれからも戦争はしてはいけないものだという考えを持ってみんなが幸せに人生を送れたらうれしいです。



原爆先生の特^{じゅこう}別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

私は、戦争を日本がしていた頃は
すぐ昔のことだと思っていました。なぜ
なら、戦争によって身のまわりに影響を
受けたことがないからです。でも、原爆
先生の特^{じゅこう}別授業を受講してから、それ
は間違えたと思うようになりました。
戦争で亡くなられた方々のおかげで、今、
平和の時代がや、てきているからです。
たくさんの、きせい者がた後に悪いこ
た^{こと}と、ようやく気がつく人間のおろかさを
思いました。このきせい者の命をむだに
しな^しないためにも、戦争のつらさをできる限
り知り、戦争を二度とおこさないよえこする
使命があるのだ^{こと}と思います。
原爆先生の特^{じゅこう}別授業はけいけんしたこ
とないことであつてもイメージがわきました。
戦争経けん者が減っている中、新たな世代
にもこの過ちをおかさないように伝えていく必要が
あると改めて実感しました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特^{じゅこう}別授業を受講して

表

75年前に私たちと同じおろかな人間がおこした戦争、そして原子爆弾投下。それを直接教えてくださる方は1日1日減っています。

私たちは残された様々な記録やお話で、決してはるか昔の歴史ではなく明日世界のどこかで再びおこってしまうかもしれない、そんなものだと思います。

アメリカでは、戦争を早く終わらせるためには仕方がないという考えもあったそうです。しかし私は人間には話合ふことができず、相手と同じ大切な命をもつ存在なんだと理解できる生き物だと思います。ですが起こってしまったことは消えません。私たちはご存知の方に教えてもらい二度と戦争をおこさない、世界で戦争が起きてしまったとして、しっかり目を覚ませることが出来る大人になりたいです。本当に今回は貴重なお話をありがとうございました。ありがとうございます御座います。



名前は裏面に記入してください

原爆先生じゅこうの特別授業を受講して

表

私は今まで原爆について、あまり興味がありませんでしたが、原爆先生の特別授業を受講してから興味深くなりました。広島に落ちてきた原子爆弾の名前は「リトルボーイ」だなんて初めて知りました。ですが、人々は原子爆弾リトルボーイはパラシュートにぶら下げられて落ちてきたと誤解してしまっただろうです。その誤解の理由は、実はパラシュートに「ラジオゾンデ」という名前の物を付けていたからです。人々は多分、このラジオゾンデが見えなかったのでしょう。そして、原爆先生の原爆が落ちる音はとても迫力的でした。原子爆弾が落ちた後の放射線は人間の細胞を傷つけ、「原爆症」という病気にかかってしまうそうです。それから、原子爆弾が落ちた後の煙のような物を「原爆



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

雲」と言います。その原爆雲の一番上の部分が平らになっている理由は、そこに空気の層があるからです。つまり、この層の上はもう上がれないということだそうです。その雲の温度は、下の方が約7000℃、真ん中が約100万℃、人間が感じる温度が約3000℃です。そして太陽の温度は6000℃。原爆雲の方が暑いです。その暑さは人間が溶けてしまいそうなくらいの暑さです。原爆先生の話によると、人間の皮ふはビリビリにはがれ、中の肉や脂ぼうが見えるようなかんじだそうです。想像しただけでゾッとしました。

原爆先生の授業を受講して、原子爆弾について、いろいろ知れたと思います。ありがとうございました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

原爆のお話を聞かせていただきありがとうございます。

私はホーの時に広島に行きました。原爆ドームや平和資料館に行き、戦争のおそろしさや平和のすばらしさを感じました。そして原爆によって皮ふがとれさがり肉がむきだしになっているような人形も見ました。私はこれを見て、全然みることができませんでした。でも池田義三さんはそれを見て「美しい」と言ったのですから、

きっと実際は私には想像ができてはいほどおそろしかつたのだと思います。

そして池田先生が最初に言った「7000人の少年」の意味もわかりました。「7000人」とは原爆の温度のことで「少年」とは原爆の名前 リトルボーイからとったのであることが話をきくうちにわかりました。

私は最後に見たビデオで義三さんは当時のことを思い出して涙をながしていたことにびっくりしました。

本当は救いたかったのに助けられなかったのを後悔しているのだと思いました。もうこのようなことがないように、そして世界が平和になるように私も原爆のことをわすれないうちに後世に伝えていきたいです。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

ありがとうございました。
原爆投下の候補地に京都が
一番推されていたことを初
めて知りました。また、最終的に
京都を除外した時の「占領した際
の日本人の感情」という理由を
もっと詳しく知りたかったです。
また、原爆雲(きのこ雲)が発生
する方法が分かり、グッと理解
が深まりました。高度、約10km
の所から原爆を投下し、200m
しか爆心地がずれなかったこ
とに人間の技術のすごさと思
いしらせられました。そして、もう
二度と戦争をしてはならないと
いうことを強く思いました。
まだ、広島(原爆資料館)に行
たことがないので、はやく行って
みないといけないと思いました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して^{じゅこう}

表

私は小学二年生のとき、広島に行って、平和記念公園や資料館に行ったことがあります。池田義三さんが実際に体験をしたときのことを今日、たくさん学びました。まず私が一番おどろいたのは、原子爆弾の温度が太陽の温度よりも1000℃高いということです。そのため、近くにいた方は約2万人が一瞬で焼け死んでしまったことにショックを受けました。

義三さんが川で見たたくさんの死体は、きっと衝撃を与えたと思いますが、それでも一体一体を集積場まで運んだことにたくさんの勇気をもらいました。また原爆で広島の人口の約分の2が死亡しているという事実を改めて知り、このような悲しみことは二度としてはいけないと思いました。今日の貴重なお話は、ずっと心の中にしまい、一生忘れません。



名前は裏面に記入してください

原爆先生じゅこうの特別授業を受講して

表

今まで知らなかった“原子爆弾の恐しさ”を知ることができました。私も実際に平和島公園や資料館へも行ったことがありました。今日、一番心に残ったのは、お父様が資料館の皮ふがとけてしまっている人々の像を見て「こんなにやさしいものではなかった」とおっしゃっていた、ということです。なぜなら、私はまだ小学校二年生だったのですが、資料館で見た時、とても人のように見えなかったので、「こんなやさしいものではなかった」ということを聞いてびっくりしたからです。原子爆弾が地上に落下する時には太陽に近い温度だった、というのもおどろいたことのひとつです。私はいつも真夏の太陽の下にいただけで汗がとまらなくなってしまうのに、もし、今、“原子爆弾”というものが落ちてきてしまったら……。とふるえがとまらなくなりました。

今日、原爆先生のお話しをお聞きして、改めて、“二度と戦争はおこしてはいけない、平和ということの大切さ。”

が大切だな、と思いました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

私は原子爆弾が落とされる候補になつた都市が、横浜・京都も入っているということを知ったのでびっくりしました。特に京都が一番おされていたのに、古い神社などもあるから取り下げになつたと聞いて、一番最初に思ったのは、「よかった…」という安堵ですが、次にアメリカの人々も日本人の気持ちを少しは理解しているのかな…?と思いました。でもそうすると、実際に原爆が落とされた広島や長崎なども良いところがたくさんあるから、本当に理解してるのかな?と疑問に思いました。

原爆先生の表現の仕方やしゅべり方などが特にリアルで、本当に、原子爆弾の恐しさを知りました。そして、もう二度と戦争はしない平和な世の中になって欲しいな、と改めて思いました。

本当にありがとうございました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

広島に戦争の影響ですアメリカによって原子爆弾が投下されたたくさんの方が命を失ってしま、たという事実は知っていましたが今回の授業を受け改めて考えてみると、一瞬で肉体がなくなってしまうことも、人間とは思えない様子になってしまうことも、とてつもない熱風にさらされることも、恐ろしいことだなと痛感します。直接被害を受けた以外にも見ることもつらい様な死体を集め焼いたり助けたくても助けることのできない人達を前に自身の無力感にさいなまれたりと苦しまれた兵隊の方々など、苦しんだ方は多かたと思います。また、今現在資料館で紹介されているものよりも実際はひどいものだったという実体験者の方のお話をふまえ、悲しく恐ろしいくり返してはならない原爆や戦争などの出来事を、より正しく捉え直せる機会を与えて下さ。たこの授業には感謝しています。



名前は裏面に記入してください

じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

今回は原爆についてお話ししてくださりありがとうございます。広島に原爆が落とされた後どの様な光景が広がりどれだけ悲惨であったかなどを知ることができました。

原爆が落とされ爆発する瞬間の音を真似された時とても大きく耳をつんざく様な音でとても怖いと思い、同時に「本物はもっと凄いのだから恐ろしいな」と思いました。原爆資料館の被爆者の模型を見た時私は「惨いな」と思ったのですが、義三さんが「きれいすぎる」と仰っていてその一言で実際はどれだけ惨たらしく悲しい姿だったのかと思い、どれだけ原爆が恐ろしい物であるかということをととても痛感しました。そしてもう二度とどこかに原爆が落とされる様なことが起こらないで欲しいと強く思いました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

今回の授業を受けて、改めて原爆の恐しさを知りました。私は原爆投下の候補になった都市は知っていましたが一番強く候補におされた都市が京都だったことは知らなかったです。京都に落とすことは可能だったのに、日本人の重要な文化財を大切に、除外したことが戦争に勝とうとした中での優しさだと感じました。原爆での死亡率が40%と聞いて私はクラスの中の5人に2人がなくなってしまうことと知りました。池田義三さんの原爆資料館を見に行ったら発した一言「キレイすぎる」に言葉の重さを感じました。その一言にどれだけの気持ちがかもっていたのでしょう。

今度実際に広島を訪れ、原爆ドームや原爆資料館に行ってもう一度原爆について考えてみたいと思います。

今回の原爆の話を絶対に忘れず、次の世代にも伝え、今の日常があることに感謝をして生きたいと思いました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

今回の特別授業で私は多くのことに衝撃を受けました。

特に私の記憶に残っているのが原爆の熱さが太陽より約 1000°C も熱いということです。

こんなにも遠くても熱さを感じる太陽より 1000°C も熱い物体が頭上600mにあるなんて想像が付きません。そしてその熱線と衝撃によって体中の水分が蒸発するというのも考えるだけでもものすごく怖いです。

次におどろいたお話は被爆者率が広島市人口の約70%死亡率は全体の約40%ということです。思っていた以上の多さにおどろきました。

さらに、原爆が投下されてもう75年以上もたつのに当時の放射線により原爆症になってしまい今も苦しんでいる方々が居ることにおどろきました。

こんな事もう二度とくり返してはいけないと思いました。

今日は貴重なお話ありがとうございました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅうこう

表

2/21

私が、一番印象に残っているのは、広島平和記念資料館に、池田さんの父がおとされた時、池田さんの父、義三さんが、「きれいすぎる」と言ったことが、頭からはなれません。現実がどれだけさんこくで、それほど恐ろしいものだったが、それを考えるだけで、背筋がこおりに上がってきた。原爆先生が、おっしゃった事を、しっかり代にこめ、今後の生活にいかしていきたいと思います。もし、そこに自分がいたら、どうなっていたらう。考えただけで、怖くなりました。もし広島市にいたらどうなっていたらう。熱線を受け、苦しんでいる人を助け出すことができたたらうが、人がえるてとんとん怖くなっています。

前までは、戦争の事は昔の事であって、私達にはあまり関係がないと、思っていました。原爆先生のお話をきいて、これから、自分達が、つづいていって、いかに行けばならない、事なのだということがわかりました。自分達が世界にこういけるようにしていきたいです。



名前は裏面に記入してください

じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

原爆。広島に落とされた「リトルボーイ」約3.12m
で4七もの大きさのある原爆です。

原爆は当初、目標地点とされたおいあい橋から
200m離れた島病院上空600mで爆発。

50m以内の人は即死。一しゃんの内に灰になって
しまったのです。上空600mに大きな熱球かてき
半径200m、外部分は太陽の6000℃よりも高い、
7000℃。中心部は10000℃以上になり、地面
は3000℃にもなりました。

原爆の怖さは熱線と爆風、放射線の3つがあり
ます。熱線、爆風はもちろん、放射線が爆弾
と一番違うところでしょう。

放射能は長らく人体にひそみ、除々に人体に
害を与えてゆきます。とても怖いものなのです。

原爆先生のお父様、池田義三さんのお話は、
江田島の基地にいて8/6に広島市付近に到着。
8時前に来る筈のトラックで広島市内にある食料
倉庫に向かうのでした。

でも、8時を10分過ぎててもトラックは来ず、



名前は裏面に記入してください

じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

義三さん達はドラムかんによりかかってトラックを待っていました。…これが幸いでした。

8時15分。一しゃんせんこうが"またたき、10m近く吹き飛ば"されました。

しかし、ドラムかんのお陰で皆軽傷ですみました。そのあと、義三さんたちが"出会った被爆者の姿や原爆投下後の惨状"、全てをリアルに語って下さりました。怖くて震えてしまう程でした。私は言葉として知っていた、原爆の深さに触れた気がしました。原爆はとても怖くて恐ろしい。分かってはいても、実際に広島に行くことはできていなかったため、身近に感じられていませんでした。

でも今日のお話で本当の怖さ、恐ろしさを知り、被爆した方々のごめいふくをおいのりします。そして、もう二度とこんな悲げ"きか"起きぬよう、そんな社会をつくらないよう、未来を生きる私達が"気をつけなければ"ならないと思いました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生じゅこうの特別授業を受講して

表

原爆先生の話に少し聞かされてから、振動の音がリアルに伝って、怖くなりました。何もなく、平和な広島の日が始まろうとしていた1945年8月6日午前8時15分。広島が地獄へと化したことを知り、恐しくなりました。私は想像することしかできないけれど、もはや人間の姿ではなくなった人々の話を聞き、原爆の怖さを改めて実感しました。池田義三さん本人が被爆して傷だらけの人を助けようと思っても助けることができないというもどかしさや悲しみがわきてきたという話を聞き、私自身も胸がしめつけられて「悲しい」気持ちになってしまいました。私は、原爆は人間の大きな過ちだと思っています。この過ちを後世に伝えて行くことで、もう二度とこんなことはしていけないとみんなに思ってもらうことが大切です。そして、私たち若い世代が平和を築いていきます。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

原爆のことを教えてくださりありがとうございます。
原爆を落とされた後のことがわかりました。
その時のことを聞くのと実際に見るとは違います。
ですから聞いているだけでも怖いのに実際にそこで
見るとどれほどなのかは見当もつきません。改
めて原爆の恐ろしさかわかりました。助けに
そこに来た人も放射線で病気になってしま
う爆発した後にも影響を与える放射線は、怖い
です。原子爆弾の最も恐しい熱線 衝撃波 放射線
を聞いただけでも事故が起きる原因になっていたり
するので危ないのかつまっているということか
わかりました。原子爆弾が使わないそして戦争を
しないように私たちにも出来ることを見つけて
やっていこうと思います。あきらめないようにして
いきたいです。なぜ、原子爆弾を使ったかなど理解
していきたいと思います。原子爆弾のことを知
りたいので歴史も調べていきたいです。こ
ういう恐ろしいことが二度とおこらないように
していきたいです。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

今回の授業を聞いて、原爆の恐ろしさがよくわかりました。今までも、様々な所で原爆について聞いてきましたが、実際に体験された方のお話を元にした物は、今まで私が聞いてきた物よりもずっと怖かったです。

原爆の温度は7000℃あり、太陽の表面温度にあたる6000℃をはるかに超えるものでした。また、被爆者の姿について聞いた時は、あまりに酷く、想像するだけでも辛かったです。

原爆は人間が作った兵器です。その兵器であんなにも多くの方が苦しみ、被害を受けました。

私たちは、実際に体験したことはありません。ですが、このお話を志れずに、今度は私たちが伝える立場になれたら良いなと思います。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

前半では、想像していたよりもはるかに超える恐ろしさに、「怖い」ということで頭がリッパリでした。

原爆が投下されてから7日間までの間に「毛はヤ人間の次ではなかに」という言葉がとて心に残ります。授業を受ける前から、原爆の恐ろしさというものは知っていたつもりでしたが、こんなにも恐ろしいものだとはいっていませんでした。およそ70年前にこんなことがあったとてとても信じることができませんでした。

後半は、原子爆弾が太陽よりも高い表面温度のためにということがおどろきでした。夏でも、充分あついののに、それよりも高温のものが600mしかはなれていないところにあると考えると、とても恐ろしいです。

もう一度と、このような悲しいことがおこらないと...と思いました。しかし、戦争を経験した人の中には、「絶対に忘れてはいけない」という人もいます。なので、あの時のことを「忘れる」に今につなげていきたい...と思いました。

先生にお話をうかがった90分間は、とても貴重な体験でした。いつか、原爆のなくなった世界が見たい...と思います。貴重な時間を、ありがとうございました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特^{じゅこう}別授業を受講して

表

原爆先生のお話を聞いて、「はだしのゲン」という本を思い出しました。「はだしのゲン」は、私が広島^の原爆を初めて知った本です。実際は、広島、長崎に落とされてしまっただけで、最初は京都が検討されていたと知り、とても驚きました。鉄が溶ける温度1500℃太陽の表面温度が6000℃に對して、爆^バ直下は3000~4000℃と聞いて想像できなかったです。人間の身体^の水分、内臓の水分まで蒸発してしまうと聞いて、とても恐ろしくなりました。外にいた、生き物、たいてい^の人は全て焼けて骨^のなごりになったと聞き、私はその光景を想像するだけで怖かったです。何人の亡くなった人を担いで運んだと聞き、以前、沖縄のひめゆり資料館をおとすれた時の事を思い出しました。私がその様な任務を任せてもきつ泣いて出来ないと思います。怪我にウジ虫が湧くほどの痛みは何回もたえられなかったと思います。私は広島に行った事がありませんが、もう少し広島^の事、原爆^の事について調べたいと思います。今回聞いた話をいつか誰かに伝えられる時があれば、今回聞いた話を自分で調べて知った事などを、戦争、原子爆弾を知らない人に伝えていきたいと、私は思います。実際に原子爆弾を体験した人の話を聞いた事がないのでとても貴重な機会となりました。ありがとうございました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生じゅこうの特別授業を受講して

表

私は原爆先生のお話を聞いて、原子爆弾、核兵器の恐ろしさを痛感させられました。今まで私は、歴史上、このようなことがあったのだ、という風にしか(原爆について)考えていなかったのです。

「戦争は人の心から生まれるもの」という言葉があります。

私はお話を聞いて、この言葉について考えていました。

もし、戦争が人の心から生まれるのであれば、ものすごく恐ろしいものではないでしょうか。人間の感情で二万もの命が一瞬にして消えた。他の戦争でも数え切れない程の命が無くなってゆく。とても惨いし悲しいです。

なぜ罪のない人々がこのようなことで苦しめられてしまうのか、戦争はなぜ起きてしまうのか、必要なことであるのか、もう一度考えさせられました。

原爆先生、このような辛いお話を私達に聞かせて下さり、ありがとうございました。

これからの未来、私たちは平和を何かあってもくずしてはならない、核なんてもう二度と使ってはならないと思えました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

2/20

二月二十日は、原爆についてお話ししてくださり、ありがとうございました。私は小さい時に広島に行ったことがあるのですが、あまり原爆について詳しくなかったため、今回とても勉強になりました。

原爆を受けた街・人の様子が伝わってきて、とても恐ろしかったです。また、原爆のもたらすものが熱線・放射線・衝撃波といふどれも体に害があるものなので、辛かったらうなと思いました。地上600mで太陽ほど(7000℃)のものがあつた、その地上は3000℃で鉄が溶ける温度は1500℃なのでその倍と考えると、とても悲しく、怖くなりました。

そして、死亡率が40%で、被爆率は70%にもなると思うと、とても危険なのだということが改めて感じました。私は、その場にいた兵隊さんが、怪我をした方々に応急処置をすくしたということが、すごいなと思いました。

今後二度とこのようなことが無いような「平和」な世界がいいなと思いました。今回はこのような貴重な時間を本当にありがとうございました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

私は、原爆先生の受講を受けて、
感じたことが三つあります。
一つ目、どうして戦争をしなければ
ならないのか、二つ目、どうして罪の
ない人が死ななければならな
かったのか、三つ目、争いをするより、
世界全体が仲良くしたら、
自分達への利益が上がるのでは
ないのかです。

今回、この受講を受けていて
とても分かりやすかったです。事前に
少し予習していたのもあったので
被爆者方の苦しさなどが、

ものすごく伝わってきて、

「戦争は、絶対におってはならない」

という事を再確認できる良い
機会でした。

これからも、戦争についてあまり知らない
人達に、伝えていけたら良いです。



名前は裏面に記入してください

じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

広島には、私も5年生の時に行ったことがあります。資料館には行ったことがなかった。なので、今日原爆先生の話をして、太平洋戦争の悲惨さがよく伝わりました。たった75年程前のことなので、恐怖を感じました。原子爆弾の温度は7000℃と聞いてびっくりしました。太陽の表面温度より高いので、とても恐ろしい兵器だなと思いました。地上では3000℃で、そこにいた人たちは、跡形もなく消えているということを知ったとき、ゾッとしました。目の前にいた人が急に蒸発していなくなるのと同じなので、このような惨事はもう二度とあってはいけないことだと改めて感じました。その時の広島の死亡率は40%、つまり5人に2人が亡くなっているということなので、よく昔の人間は同じ人間をこんなに無慈悲に殺戮できたのだと昔の人に恐怖を覚えました。衝撃波の速さが毎秒440mということとは1秒に440mの速さで伝わってくるということなので、驚愕しました。このようなたくさん人が亡くなり、意味のない争いはもう二度としないでほしいです。今普通に過ごしているということとは、とても幸福なことなのだということを忘れずに、これからは過ごしていこうと思います。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

私は今まで原爆がこわいということは
何回も言われて、そう自分の中で
認識していましたが、私の思うこわい
よりも「はだしのゲン」で読んだだけで
こわいが自分にはわからないくらい
でした。さらに今回のお話を
聞き、本で見ただけでもこわい
けれど、実際体験された方々は
こわいとかそういう気持ちはあまり
感じず必死で生きていこうとしていた
のだと命の大切さに気付か
されました。先生のお話の中で
一番印象に残ったのは、「人の影」
の写真でした。一瞬にして人が
消え、影が残るだけほどの力を
持っているものがこの世に今も更に
強くなってこの地球上にあるのだと
思うと考えることもできません。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

実際に広島へ兵隊として救助に向かった方の話しているビデオでその方が途中で涙をこらえている所を見て、何か考えさせられるようでした。

広島におとされた原爆がどのようなものであったのか、どれくらいで落とされたのか中心100万℃高600m、... などと言われてもう何もよくわからなかったけれど被爆者の想像図のようなものを見てこれは当時、だれも想像することかできなかつたのだろうと思いました。

正直、話を聞いても私の心の中にはまだこわいという気持ちが存在しています。でも、自分も少しでも広島へ行き、平和、で何なのか学んでみるのが大切なのだと思います。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

先日は、原爆についてお話してくださり、
ありがとうございました。お話を聞いて、
改めて、戦争のひさんさがわかりました。
二度と戦争は行らないように気をつけたい
です。私が一番心に残ったことは、
会社が開くのを待つ男の人のお話です。
階段にすわっていた人のかげを見たとき、
すごい鳥はだか立ちました。私は、原爆は
おそう式の時みたいなあつさばのかなと
思っていたので、骨も残らないのを知り、
本当に戦争はしてはいけないのを
感じました。原爆資料館には、行ったことが
ないので、すぐ行ってみたいですね。
一番おどろいたのは、爆心土地のすぐ近
いところで被爆して、助かった人がいるとい
うことです。銀行の地下のトイレにいた
男性は、本当に運がいいなと思いま
した。



原爆先生の特^{じゅこう}別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

原爆先生のお話を聞いて、いろいろな事を考えて、戦争のおそろしさをあらためて実感しました。

1945年8月6日、広島に原子爆弾がおとされました。広島の人口35万人のうち、14万人の人がせくなりました。死亡率は40%です。原子爆弾の中心は、太陽の6000℃をも上回る、100万℃です。爆心地の近くにいた人は、すぐあつからたことでしょう。そこに自分がいたら、と思うとすぐおそろしいです。人間同士で争って、何になるのでしょうか。

もう、二度と戦争をおこさないように、もう、二度とこのようなあやまちをおこさないように、この原子爆弾が教えてくれました。原子爆弾で亡くなった人や、そのご家族の思いを胸にとめてすごしていこうと思います。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

/

まさかいい天気ですれから原爆が落ちて来るとは思っていない時に、急に原爆が落ちて来た時に、とてもくるしいのにがんばってにげて行く人たちが目にうかんできました。私にもその現場にいたと立つこともできないう思いました。写真で見た黒いかげに人がそこに居たのに、しゃんでさえてしまうほど暑が、たつに全身やけどでにげてきた人は、今の私より何十倍も強いと思ひました。私は、ぜんぜん広島原爆のことを知らなかつたのですが、もつとこのようぢことがあつたのか、「7000の少年」の本を言つたたり、家族といふしに原爆資料館に行つて、当時の広島はどうか、といつたのか原爆を体験した人の話もたくさん聞ひて、広島のことをたくさん知りたうと思ひました。原爆先生特別授業ありがとうございました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

/

私は、原爆先生の授業を受けて、改めて原爆のお話をうしやひどさを学びました。原爆のことは、分かっているつもりでしたが、今回お話を聞き自分が一部分のことしか分かっていなかったのだと思いました。原爆先生の講話で一番印象に残ったのは、アメリカが原爆を落とす地域から京都をはずした理由です。アメリカ軍は、京都には1200年を超える歴史書や重要な歴史書がたくさんあるため、大切な歴史書を原爆によりなくしてはならないと考えたそうです。また、アメリカ軍が日本をせん領した際に、京都を残しておくことで日本人から少しでも反感を少なくしようと考えたのではないかということも言われているそうです。今回、原爆先生の特別授業を受講し、このことで、原爆がもたらした悲しい出来事を学ぶことができました。人という動物は、私達自身が思っているより、おそらく自分が思うより他人のことは考えられないのだと考えました。これからも、私達は消えることのない過去と向き合いながら、過去から大切なことを学んでいき、平和を導いていかなければならないと思います。貴重なお話を聞かせていただきありがとうございました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

この度は、原子爆弾や広島のことを教えてくださり、ありがとうございました。

私は広島に行ったことがあります。小3くらいでした。今でも資料館にあつた人形が忘れられません。本当に「ごんく」だと思いました。

また、池田義三さんが、なにが起きたのかわからないじょうたいの中で、亡なつた方々や痛みにあつてた方々のために、力をお使いになられたことを、とても尊けいしています。私も、どんなじょうきょうの中でも対応できるようになりたいです。

原子爆弾がーしゃんで幸せをうばう物だとより理解できました。太陽よりも温度が熱かたり、放射性物質を大量に放射したり、衝撃波をたくさん出すなどの最悪なパターンがすべてそろつてついるというのが、なによりも怖いです。

このできごとを人々が忘れることなく、未来へつなげられますように。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

2 / 20

原子爆弾投下都市には条件があり、①直経5kmを超える ②平野であること ③空襲がなかったというような3つの条件があり、一番有力だった候補になった都市が四方が山や海に囲まれており、家が密集していて、被害がスキクなりやすい京都だったが、古都であり、文化財が多くあること、人々の思いを考えて除外されたというのを聞き、敬馬しました。そして、私の中でとても印象に残ったのは、義三さんが広島平和記念資料館をまわり、広島平和都市記念碑(原爆死没者慰霊碑)の前でおっしゃった「きれいすぎる」という言葉。私はその言葉を聞き、資料館に展示されているものですら、衝撃的なのに、それが「きれいすぎる」のであれば、実際は、衝撃的を上回る言葉では言い表せないほどのものなのかと思い、悲しくなりました。

「7000℃の少年」、「少年」は原爆を落とした「リドルボーイ」を表し、「7000℃」は原爆の表面温度を表し、「7000℃の少年」は原子爆弾そのものを表すのだと私は考えました。私は日本人として「7000℃の少年」のお話を忘れたくないです。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

小学一年生の頃、はじめて原爆についてを知りました。その時は、広島・長崎に原爆が落とされ、広島全体が焼け野原になったことしか、知りませんでした。私は原爆について聞き、思ったことは、「生きている中で、いつ、何が起こるか分からない」ということです。広島・長崎に当時いた人々も、8月6日・8月9日に原爆が落とされることなど、想像もつかなかったと思います。そして、原爆の威力も分からなかったと思います。原爆で広島の人口5人に2人が亡くなりました。広島の人口は、35万人で、死者14万人でした。被爆者の人々は、大火傷を負い、助けが来るのを待ちっづけていました。私は、その事を考えるだけで心が苦しくなります。「大人が始めた戦争に子供をまきこんだ」とことは、私が子供だから言えることです。原爆の事を世界に知らせ、世界の戦争をなくして欲しいです。特別授業、ありがとうございました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

この間は、お忙しい中、貴重なお時間を
つかって、光塩女子学院初等科
にいらして下さり本当にありがとう
ございました。

池田さんのお話は、とてもわかりや
すく、本当に、その現場で、おきている
ことを見ているように感じられました。
「赤と紫の太陽より温い球体」「音速をも
こえる早さの衝撃波」「真空状態にな
る爆心地」「入口の70%の被爆率」「一瞬
で人間を真黒なスミにしてしまう熱線」……
話に出できた言葉はどれも上のような、
恐しく、怖いモノばかりで、その上、リアル
だった為、可愛想で、恐しくて、涙が出て
きました。

最後に質問があります。①原子爆弾を
投下したアメリカに対してどう思っています
か？②原子爆弾が昔に投下されたとは思
えない程発展している今の広島をどう思いま
すか？



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

先日はお忙しい中、貴重なお時間を使って、光塩女子学院初等科にいらして下さり、ありがとうございました。

「7000°Cの少年」と最初聞いた時は「7000°C、というのはきっと原爆のおんどだろうけど、少年てなに？」と思いましたが、一時間半お話を聞いているとわかりました。まず、7000°Cとは、私の推測通り、原爆の温度で少年とは、広島に投下された原爆の名前「リトルボーイ」、それを日本語訳した言葉ということです。私は、これにふくめ、7000°Cもするのにも、まだ「若い少年であり、それなのに、ほう大なひがいを与えた、つまり、さらに大変なモノもできてしまうのかもしれず、私達はそれを防がねばならない」という意味もあるのだと思いました。

また、古い都市で日本のうける打撃も強く、わざわざ原爆をおとす候補としても最推したたのに、「重用文化済である」「古くての、とりどすい」という理由で京都に落とすのをやめたアメリカの考え

特定非営利活動法人原爆先生 <http://hiroshima9.com> post@hiroshima9.com

方も少し学びになりました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

先日、私が原爆先生の特別授業を受講したことによって、原子爆弾のいかやみさんを改めて実感することができました。目の前で苦しみながら助けを求めている人を助けてあげたいけど、助けることができないという義三さんのみじめに思う気持ちから、原爆先生のお話から、とても伝わってきました。一番心に残ったことは、義三さんのお父さまが、平和記念館に展示されていた被爆者の方の人形を見て、綺麗すぎる...とつぶやかれたということです。人形などでは表現することができないほどの姿に人間によってされてしまったということは、今後絶対に繰り返してはいけなと考えました。だからそのために、原爆先生からお聞きましたお話を、次世代に伝えていくことが大切だと考えました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

私は戦争についての話は何回も聞いたことがあります。原爆先生の話はりんじょう感があつてわかりやすかつたけど、少しこわかつたです。もし自分が体験していたら世界の終わりを感じると思ひました。私は夏の暑さが苦手、40℃近い日でもとけそうになるのに3000℃なんて考えられません。

投下に使われた飛行機「エノラゲ」を機長のお母さんの名前だといふところから、アメリカの兵士たちもやりたくてやつてるわけではなかつたのかもしれないと思ひました。

私は戦争のない時代に生まれてきてよかつたなと思ひました。

戦争はもう二度とあつてはしなかつたことだと思ひました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

二月二十日は、特別授業をしていただき、ありがとうございました。特別授業のテーマ「七千度の少年」。最初は、名前の由来がわからなかつたのですが、先生が説明して下さるにつれて、広島に投下された原爆、「リトルボーイ」の名前の意味や、原子爆弾が投下された位置の表面温度を知ることができ、「七千度の少年」というテーマの意味を知ることができました。今まで、原子爆弾の事は、知っていると、思っていたのですが、私が知っていたのは、ほんの一部だ、ただなと感じました。けれど、先生がわかりやすく説明して下さったことにより、理解することができました。今回、教わったことは、もちろん全てではないと思います。恐怖心や、悲しみは、き、と経験をしないと感ずることができな、と思つたのですが、私は感ずたことのないような恐怖を感じました。この思が途絶えな、いよう、他の人にも伝えていきたいです。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

今日は、原爆について教えていただき、ありがとうございました。

私は原爆についてあまり知らなかった、たのび、とてもいい機会になったと思いました。

お話を聞いて、やはり戦争はとても怖いものだと、いうことを実感し直しました。

被爆者たちがどれだけ苦しい思いをしたのかがよく伝わって来て、想像するととても怖かったです。

今の日本は平和ですが、昔は戦争がずっと続いていました。なので、今私たちが平和に暮らせていることがとてもめぐまわっていると思いました。もう二度と、こんな悲惨なできごとは起こらないでほしいです。



名前は裏面に記入してください

原爆先生^{じゅこう}の特別授業を受講して

表

今回はおいそがしい中、特別授業を行いに
いらしていただき、まことにありがとうございました。
池田義三さんの体験した、被爆者の方々が
「助けて...」という声をあげながらトラックに
乗ろうとしてきて、乗せようとしたら、被爆者の
皮膚がはがれたり、皮膚と皮膚がこす
れて痛がっている人などをリアルな表現で
表していただき、残酷な姿が頭に浮かび
ました。私は広島に行った事があります。
原爆ドームの焼け跡に驚愕したのを
今でも覚えています。原爆ドームの中に入っ
て私は、戦争の怖さを改めて実感しました。
戦争は必要の無いものだと思います。戦争
は「殴り合い」が大きくなった「殺し合い」です。
「殺し合い」をする意味など一切ありません。でも、
なぜか人間は同じ誤ちをくりかえしてしまいます。
私は、全ての人々が「戦争はいけなり」ということが
大事なのだと思います。一人でも戦争を始めようと
する人がいると、戦争が終わりを告げる事は無いでしょう。



じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

meet

~~7~~を通じて、原爆先生のお話を拝聴しました。
とても具体的に生々しい現場が目に浮かぶ様な
お話には、戦争の痛まさを痛感致しました。

戦争は二度と繰り返してはいけません。原爆の経験
した日本だからなく、持たず、作らず、持たせぬのが非核
三原則の理念を忘れてはいけません。そう子供達には
話したり、本を読ませたりしておりますが、やはり、実際
の出来事として生の声で当時の悲しい実情を耳にすると
決していつの時代にもなるうとも忘れてはいけません。繰り返
す事があるてはいけません出来事だと実感致しました。

娘と話しました。とても怖かったと言っております。
そして、日本と同じ恐怖を他のいかなる国でも起こしては
ならないとも言っております。

戦争を実体験として経験して欲しい。我々の世代にも
この様な機会を通じて、戦争の悲惨さ、核の恐怖を
伝えて頂ける事はとても貴重な事だと思っております。

ありがとうございました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

(い、へん量重なお話をめりかど)じぶいよした、私は先生の授
業を受講しての二ヶ月にたります。今は様々な情張が簡単
に見るンセかできるとか。先生目を見て、声を聞いて伝えてゆくンセの
大切さを改めて感じました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

この度は、大変貴重なお話を聞かせて頂きありがとうございます。ごさいました。自分の学生時代に学び聞いた戦争や原爆についての話を思い出しました。正直最近ではなかなか耳にする機会も減り、戦争の恐ろしさや原爆の怖さについて考えるということがなかったため、今回のお話は子供と話をあるきっかけになりました。そして、昨今の平和な日本であらうしの中で、忘れてしまいがちな過去の戦争での出来事を風化させないためにも子供たちに知っていることを伝え教えることは大切なんだと思いました。昨年からのコロナ禍において私たちの生活は激変致しました。そしてこれから先もどんなことが世界でおこるか分かりませんが、戦争や原爆はこんなに悲しく辛い出来事なんだ。一瞬にして私たちの大切な人、家、生活を奪ってしまうんだということをバにとめて二度とこのようなことがおこらないように忘れてはいけないことなんだと改めて思いました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生じゅこうの特別授業を受講して

表

1945年8月15日、日本は天皇陛下の玉音放送をもって第二次世界大戦に終止符を打たわけですが、8月6日の広島、9日の長崎と合衆国大統領のルーズベルトの決定で、たった2発の原爆によって日本に敗戦を決意させました。今回の原爆先生の授業を受けて、当時の日本の軍国主義のもとで、何故あの様な形で、兵士ではない一般人が大量に殺傷兵器によって殺されなければ終ある事が出来なかったのか、非常に悲しい気持ちになりました。この令和の世に於いて、私共の子供の世代が平和について考え、又、日本人が受けたこの悲惨な原爆の話を風化させる事なく未来の日本人の世代に伝える事は、大変重要な事だと思えます。戦争で個人の命がいつも簡単に奪われた事実に、今一度命の尊さを考える良い機会を与えて頂いた事を有難く思いました。

数年前、家族旅行で長崎に行き、原爆の凄惨さを皆で見えておりましたので、今回のお話を聞き、娘と戦争は絶対に不幸しか残らない事を再度話し合いました。



名前は裏面に記入してください

じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

今、私たちが生きる世の中からは想像もつかない出来ごと、その後の暮らし、原爆先生のカリ強い語りから戦争の恐ろしさを改めて考えさせられました。娘からは迫真に迫る口調と身振り手振りから原爆がどんなに恐ろしいものかを知り、鼓動が聞こえるのではないかと、いうくらいドキドキし、怖かったと話がありました。

未だ戦争の苦しみから逃れられず、戦中戦後を常に心に置きながら今を生きていらっしゃる方が数多くいらっしゃる一方、高齢化もあり、語り部は激減していると聞きます。多くの方が語ることにさえ辛く、一生苦しみ続けることになった戦争。祖父母さえ戦後生まれの娘たち世代に私たち親世代がもっと戦中戦後を学び、唯一の被爆国としての戦争を語り継ぐ者にならないといけないのではと一層考えさせられました。

大変貴重な授業をありがとうございました。



じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

本日は貴重なお話をありがとうございました。5年前、長女の時に原爆先生を受
 講し、その重さや衝撃等、忘れてはいつもりでしたが、自分の中であらゆる美化されていたように
 音、映像、お話全てが重く心に突きさりました。コロナ禍において「これは戦争だ」と
 テレビで話をしているのを耳にしました。やはり比べ物にならない程の出来事だと思
 いました。その意味において、被爆後の現実には、子供達にも見せてあげてあげ
 良いと感じました。目に見えないウイルスとの戦いも大変ですが、一瞬にして皮膚が焼けた
 だけその皮膚が剥けていこうに手を斜め前方に出し歩く等、人々の体にも心にもどれ
 程のダメージを与えたのか。その現実を知らせる必要があると思うのです。たった1kgの
 ウランが街中を焼きつくし、一瞬にして人々の命を奪うことの恐ろしさは、想像を遥かに
 超えたものだったはずです。原爆資料館の展示物をご覧になったお父様の「きれい
 すぎる」という言葉は、再び私の中につきさり、涙があふれました。沢山の感情が溢れて
 きて、やはり子供達に伝えていくべきだと思いました。写真や映像を直視すること
 今回も勇気がいりました。写真や映像が真実を伝えるときの力はとても強いです。
 受けとる私達にも覚悟の必要です。それでもしっかし受けとめ、将来語りついでい
 思えるのは、原爆の恐ろしさ、特に人間の感情全てをにぎりつぶしてしまおうことを
 志すにはいけないということからです。罪のない人々の命が奪われただけでなく、生き残った
 人々も身に深い傷を負いました。こんなに時が過ぎても、未だに受けとめきれないとい
 が正直なところですが、娘達とも話をし、自分達どう生き、どう伝えればいいのかを
 考えていきたいと思えます。ありがとうございました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

本日は、原爆先生の貴重なお話を伺い、親としても大変勉強になりました。娘には、戦争や原爆について理解を深めてもらいたいと普段から思っていました。私ども両親に戦争体験は多く、本やテレビなどで情報が中心で、ほかほか実際に体験された方のお話ほど、生きに情報に融れることが多かったため、本日はとても良い機会と取りました。

戦争が起こることによって、受ける被害や傷ついた方々の痛みを知ること、今、当たり前にある平和のありがたさを娘にはしっかり感じてほしいと思います。また、世界には今も戦争をしている地域があることも知ってほしいと思います。

本日、原爆先生のお話を親子で共有できたことは、非常に有意義でした。これからも戦争と平和、命の尊さについて、親子で考えていきたいと思えます。

本当にありがとうございました。